

# みと 美都



持久走大会の表彰で大きな返事をする1年生

御津南部小学校  
校長室だより  
令和6年1月15日  
No.36

## 読書のすすめ

「なのはな読書週間」が始まります



今月25日（木）から、『なのはな読書週間』が始まります。朝の時間を使って、全校一斉に読書を楽しみます。子どもたちは、自分の読みたい本を、家から持ってきたり、図書室で借りたり、学級文庫から選んだりして用意します。2学期に行われた「学校評価児童アンケート」の結果を見ますと、「読書の時間に、好きな本をじっくりと読むことができた」の数値が、高い数値ではあるものの、少し下がっています。本が好きな子が多い一方で、本に親しむ子が減っていることを表しており、読書離れをたいへん心配しています。これは、子どもたちの生活の中に、スマホやゲームが入り込み、生活環境が変化していることが大きく影響していると考えられます。

読書の効果については、様々なえらい方々が考えを述べていますが、次のように考えます。本を読むことは、本の中にある世界を自分の頭の中につくりあげ、自分とは別の人生を体験することで、自分の人生を豊かにしてくれます。そこには、想像力がはたらきます。また、知識や教養を身につけることはもちろんのこと、文章力を養い、コミュニケーション能力も高まります。そして、時にはストレスを解消することもあります。つまり、読書は、自分の生活や人生に役立つ大事な力を身につける効果があると考えられます。なので、読書はよいことがいっぱいです。

『なのはな読書週間』を機会に、ぜひ、読書に親しみましょう。ちなみに校長先生は、今、3冊の本を読んでいます。「原晋著：最前線からの箱根駅伝論」「安達裕哉著：頭のいい人が話す前に考えていること」「雨穴著：変な家」です。『なのはな読書週間』に合わせて、1冊購入しようと思っています。せっかくの機会です。みなさんはどんな本を読みますか。

## 読み聞かせ 3学期もよろしくお願ひします

1月10日、3学期最初の読み聞かせが行われました。いつもすてきな時間をありがとうございます。子どもたちは、真剣な顔で聞いたり、笑ったり、手をたたいたり、読み聞かせの時間をとても楽しみにしているようです。今話題の「大ピンチずかん」は大盛り上がりでした。



1月9日(火)の始業式から3日間、御津南部小校区青少年健全育成会による「あいさつ運動」が正門と東門の前で行われました。青少年健全育成会では、青少年は地域社会で育むという観点から、時期を決めて、「あいさつ運動」を展開しています。子どもたちも、普段よりも大きな声で、元気よくあいさつを返していました。時々、保護者や地域の方から「子どもたちのあいさつの声が小さい」「下を向いてあいさつをしてくれなかった」という声が学校に届きます。学校でも、生活委員会があいさつ運動を行ったり、気持ちのよいあいさつをしましょうと指導したりしていますが、もう一息です。ご家庭でもご指導よろしく願いいたします。

また、子どもたちに負けないよう、私たち大人が率先して、まずは家庭内で、そして通勤や通学時、犬の散歩やウォーキングなど、生活の中で出会った地域の人たちに、進んであいさつを心がけたいものです。御津の町にあいさつがあふれるよう、大人も子どもも、みんなで盛り上げられるとよいと思います。もちろん自分もがんばります。



## おやじの会のみなさん ありがとうございました

12月24日(日)、おやじの会の方々が校内環境整備を行ってくれました。今回は、体育館北西側の通用口付近の垣根の剪定などをしてくださいました。垣根の伸びた枝や葉が気になってはいたのですが、高さもあり、なかなか手が回りませんでした。でも、放っておくとどんどん伸びて、隣接するアパートにも枝や葉がかぶってしまいます。おやじの会の方々が、脚立やはしご、道具を使って、枝や葉をきれいに刈ってくれました。リヤカーで、何度も運び出し、落ち葉捨て場はいっぱいになりました。荒れていた垣根が見違えるようにきれいになりました。本当にありがとうございました。おかげで、よい年の瀬を迎えることができました。



「まなびポケット」の利用が広がります。昨年秋には、けやき発表会のプログラムを「まなびポケット」を利用して配付させていただきました。今後、学校からの配付物等は、「まなびポケット」を利用することがだんだん増えてくると思われます。また、今週からは、朝の欠席連絡を「まなびポケット」で行うことを開始しました。従来通り電話での欠席連絡も大丈夫です。詳しくは、先日配付しました『まなびポケット保護者機能』の利用についてをご覧ください。